



すべての人がスポーツの感動を共有できる環境のために 障がい者スポーツ等の会場で介助対応を行う“リレーションセンターTASKAL” 「東京都スポーツ推進企業」の認定を取得

(公財)日本ケアフィット共育機構(東京都千代田区 代表理事 畑中稔)が、11月30日、東京都より「東京都スポーツ推進企業」として認定を受けた。ブラインドサッカーをはじめとする障がい者スポーツイベント・大会において高齢者や障がい者が安心、安全に観戦できるように介助と総合案内を行う「リレーションセンターTASKAL」の活動が対象となった。この活動は介助とおもてなしの心を学んだ“サービス介助士”の資格取得者によるボランティアによって支えられている。

■東京都スポーツ推進企業について

従業員のスポーツ活動の促進や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し広く都民に周知し、企業によるスポーツ活動の推進と、スポーツに対する社会的気運の醸成を図り、2020年に向けて「スポーツ都市東京」を実現することを目的として実施する認定制度である。



■リレーションセンターTASKALとは

「リレーションセンターTASKAL」とは、スポーツなど不特定多数の人々が来場する多様なイベントにおいて、“おもてなしの心”と“正しい介助技術”を身に付けた「サービス介助士」が常駐し、障がい者や高齢者など、様々な人の“困った”に対して一人ひとりと向き合い、あらゆる人が安心して来場し、感動を共有できる環境づくりに寄与するボランティア活動。



TASKAL
Relation Center

■サービス介助士とは

「サービス介助士」とは、おもてなしの心と介助技術を学ぶ、(公財)日本ケアフィット共育機構が認定する資格です。15年の歴史があり、全国1000社、12万人が取得し、年齢や障がいの有無に関わらず全ての人々が安心して外出し社会参加できるようにサービス介助士が活躍しています。



Jリーグ東京ヴェルディでの介助対応



サービス介助士ボランティアが常駐する



サービス介助士では車いす操作などを学ぶ

公益財団法人 日本ケアフィット共育機構について

日本ケアフィット共育機構は、超高齢社会の到来をふまえ、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指し、高齢者や障がい者をはじめとするあらゆる人々が安心して外出できるよう環境づくりに取り組んでいる。障がいの有無に関わらず、誰に対しても“そっと、さっと、あんしんを。”を提供できるサービス介助士の育成をすすめている。

本リリースに関する問い合わせ

日本ケアフィット共育機構 広報室：佐藤

Tel：03-6261-2333 E-mail：y-sato@carefit.org

URL：<http://www.carefit.org>

